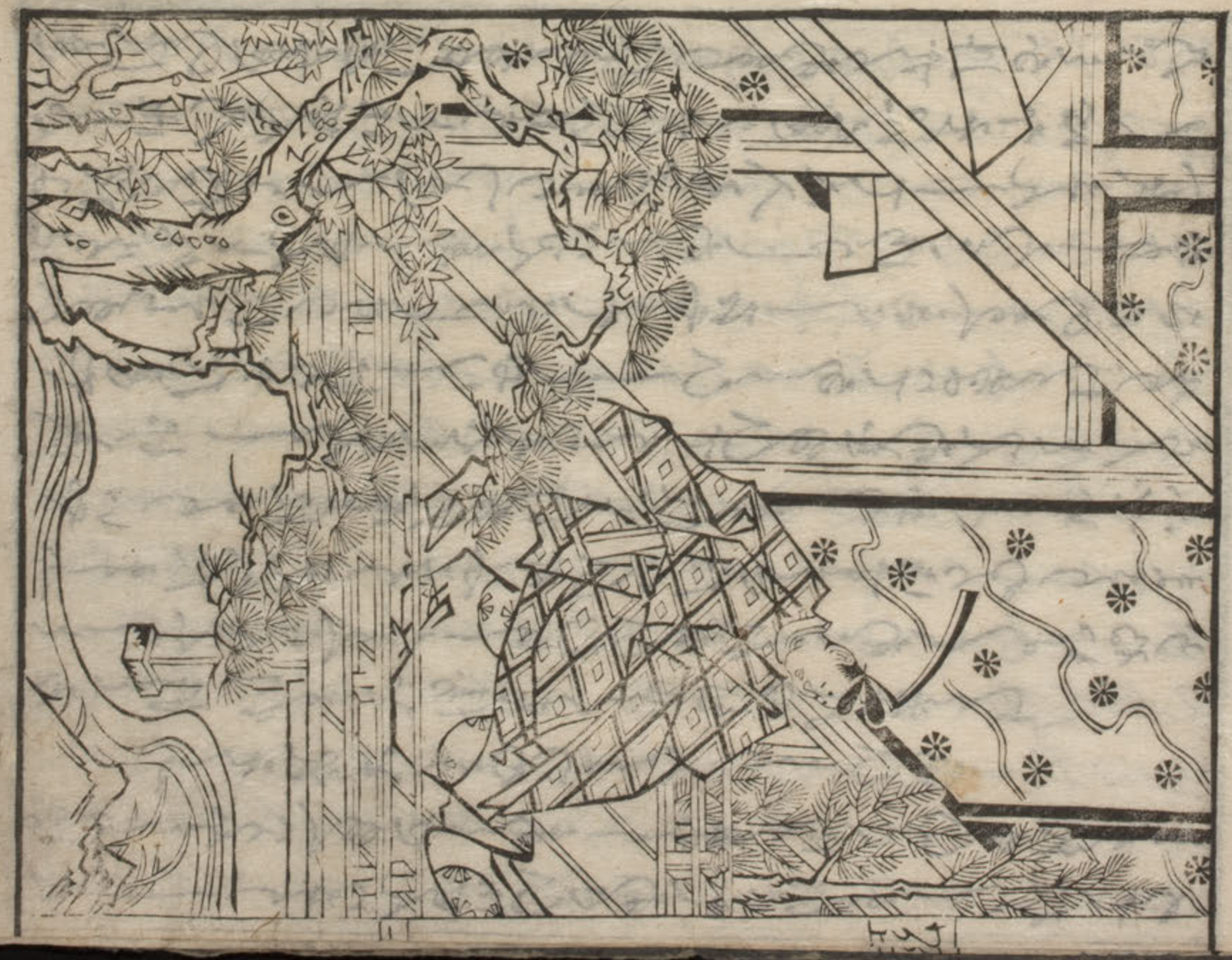
ゆうくさぬうとり　上

中むしれ者なりにおぜちの大ぐうんとて。せ
ようくまうれくさやう一人たりまたぐんぐち
二人をちのふがつとはせうしやうどのとゆーをる
はぐさはひめぐさをまてつさひのまへとゆてゆうる
ちよしたをくまごとうりたいうくうんぐんりうちい
とかしこうくまーさはせはるで人ようまるへさせじ。
ふようごに第〜ぎんとゆるいりきしづきたま
ひけうざくく又大かごんごのくみざいぶのれおまで
とざれのくうんをくぐるのとゆりるぐをもひめえ
一人おりまたをのやうまうれうちうくまり
よせはれゆくすをとたのりくちてをればてう
あひはうざりまりるぐにをうなれせのなしひま
てむーやうの風りさそうれくくうんぐくか

くきさせまひけつぞそれさひのたまりまやぞて
うへもやどをくそうなくうりまひぬたかごんとの
きこれうきれたでこてまーさせばけづるよせんと
のまひてあうぢといふめれとをそへぞんくうちを
回ーやうよそぞてまふ月日うつるまさがひく
うつくーくまーしくりりぞ八つ九つのけがねつれま
はうんーてぞひゆくすうとれゆーくそさるりう
あさひのまへと一きにをまをまとさこへをれ。
今ハをや十ばりまりりまりりまりりまりりまれゆーく
さるぞれくぐされをちうちをちうけさてをけう
まハいうづりむとをまりまりまりんとごひまへおとか
しくまーしくてうつくーさぞをおうんとうりう
れるいよーくのこがまりまひまもがるまされへ
てんぞやとさるりうよそてまーまなーーせまふ年

乃ぞこか月かりあまりれまりまりにたくまのたまき
く心かそれくまぐにぞにぞうとれせんの乃れうく
へまいさんーてれ入まぞりつまーくまーまれるを。
おりーりうきけうーしあーべ乃ん糸ーせんと作りりは
さ日のまへきこーをやうそさーしうにうまいう
りりぞりうまいてりーくーひーておりーけりがたまや
らんとうんあまをまひてぞうそぞまうそぞーぜ成
ふぜいまくおうーまたにとけまれれとれうりいや
まさりめりはすぐーぞたぐひなふこうりんへたまふ
りねいよくあうれまれまひむまくーくらんんうーと
りまれおうむゆくまを情をまりけほどを
ふひとりあまりつめうをれそふ
とうれまひくぞりうまり糸ーせまへいりりはり
めてたりーまひぞまそあさひれぜんいさうーーた

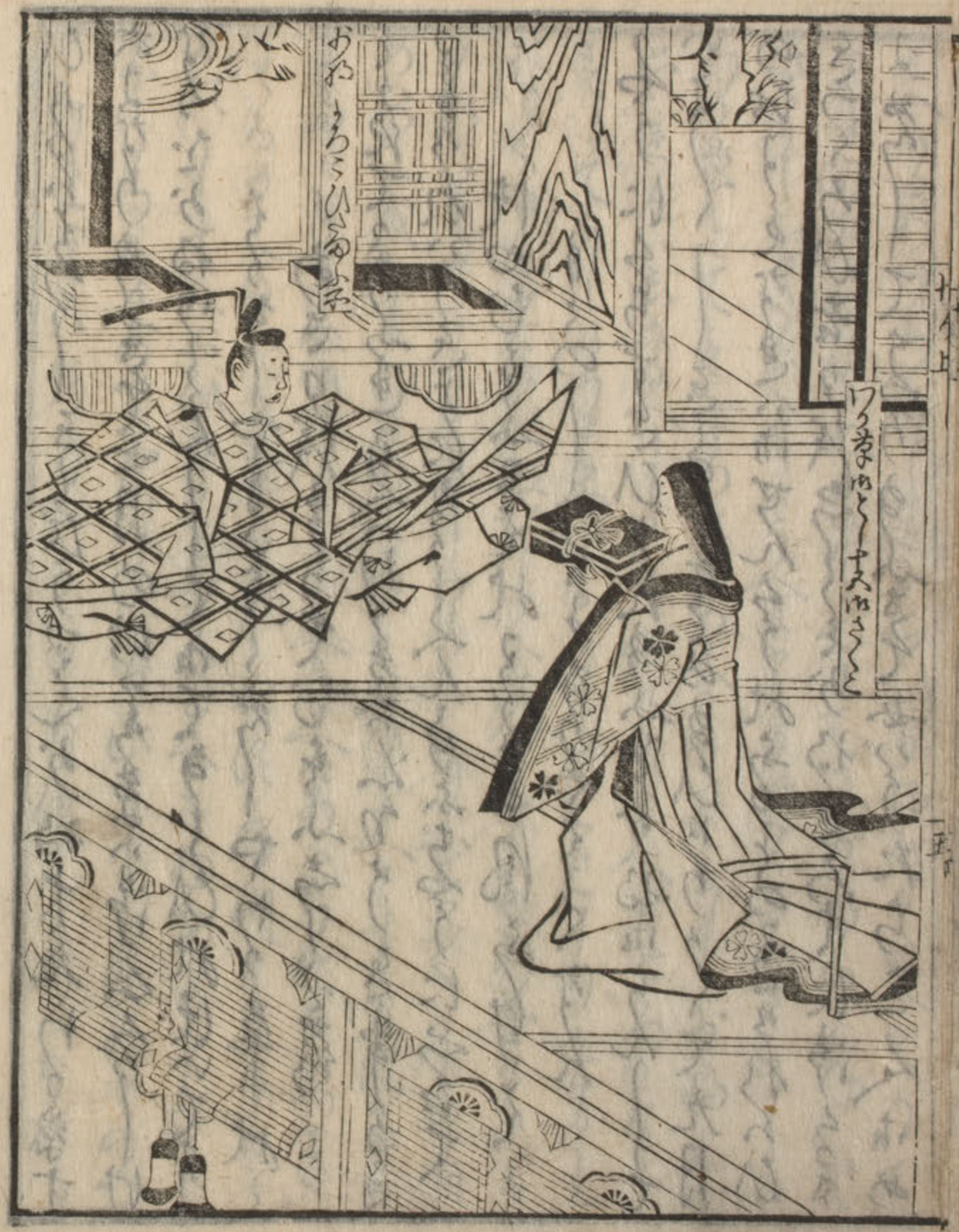


あまりさるれいぞーぞねるあに年せまふぞうしにれ心
げけなれ心なるべしなるうまひぬわりまれわり
めをやうぶわいまちたくれまりはさかうしれもち
がまーき人うへあるーあをとぶくまよくまこてた
りりりさてかねあるうまひてぞくるれは月も合
ぞぞわるまれは事のくをひなりさせまひりるぶ門
へをいるせまいにうちちかまおりーまにぶりうとれ
ぞんいかねのれるさあねわるまをるていされるん
ーておりーろをけるーしをるつぶれてでこれうけ
ごへへてわるまよよ作るまるまりるるあまりかねとの
にまくくるてるりーく作りぶこまをとちてゆ系
るをるまと作りるぶきのふさへれちるくなまひてる
まへーてドさせまへと作られぶのうぶるるうへ
さとるびくのまひりまぶわるまんうくおほー

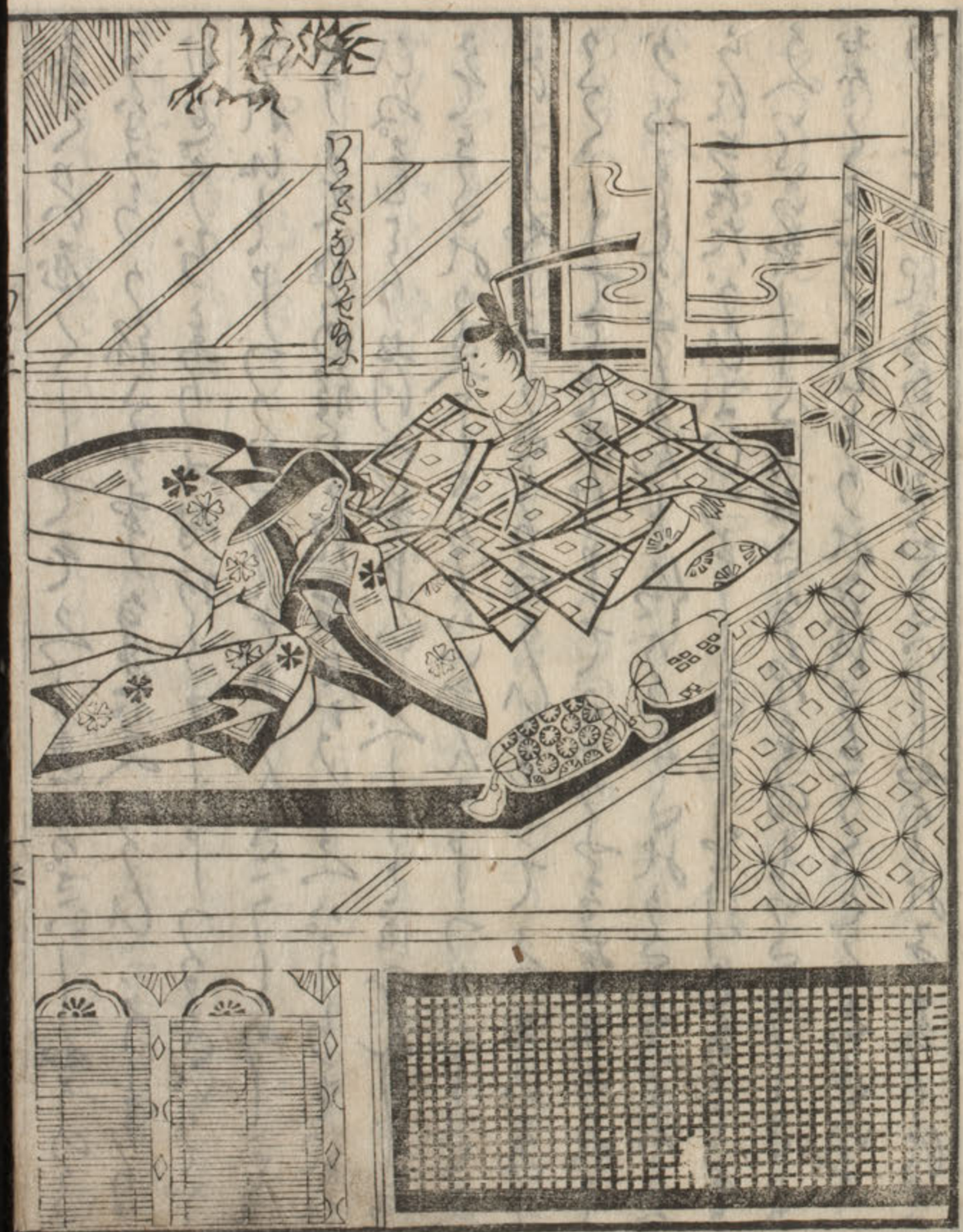
られたのかへ人の作成いまをやをいうくなまぶも
づーなるくをちておまりちおさひのれるく
ちりとてうちをさるるくんとーまぶかねゆ
あうつくたるさまへぞれそてをひうへとくわまへ
ぶそれまくさの風るまひくくるぶかねのまふれ
きふーせんるくもをひくるくくくれたまへぶ
まることにおかをるりまくるひへくどもぶるさひ乃れ
ぼさんまもちづーぶひうへさせまへぶまこそ
まりへーとの作へぶかねの作るふいとけなくま
まにけるりぶひそめるりまなまぶたるうちとけ
たまへとドまへかさくるりまひさまりぶにさまを
を和をてるふけりれぶわるまの作りるるいまそ
あさひのれるくへもちづくくてるけへさるちも
まーと作りるぶかねるまーくをれるくくるひとさ

こへりぬわりちゝをこへ給りて
又まぶたをさゝぬ中一こさてみがゐ兄ゑ
じうしをさゝてだうへまよりろぢてうへきこうを
わう学とてをとろうなる人ヨてをゑ。がゐり
ゑいまんいをうへ一とゐられぬ人こをろうなゝ
をとりてゑ一りりぢちやをろぢられくまこりゐ身も
なりくゑゝせゑひぬりゝ むゐ乃幸もあをりれを
りりをこをりりふしりりふしゑりしゑぶをくりゐ月
のゐよ成めまぶをろころもれひとへりもをれゑろ
よ角でなゝぬゐりしこをこ人ゑ人ぶあいちたとろき
りろゐてりりれゐ事をりまをれぶりゐりをりゑ
をに一てれおひゑてゑ兄ゑゝきあををとりせる。
ふりりあゝあておりしりりぢりぢりをがゐとゑ人
ゑけまぶをいゐりゑそをりりゐりる。あいちわも

ひりりふをりしこをもだりつをこがゐ十九わりゑ十
六ヨなりゑふをて七月のゐよゑゑまいゐりりけ
なりをとがゐゐんして出てゑりひれゐいてり
をりゑりやまりりゝゑりやりりゑ月
あをり成まりをてむをふをりゝ
とりゐてりりふまをへいりりをゑりりき
ヨゑりれいりをよりになりゝへんゑふぢりりにゐて
ゐをむをふをれ月りゑ風ふりけで
りりゝのしりりをりりをくなん
りりやりにりちずをひりゐれゑをがゐりんして
いまりりりりをりりりくて九月
のゐりりをなまいはせんりりりりりりりりりひ
をりりりひ右りゐりりりりりがゐりりりりりりに
ヨゑりりりりりりりりり



のこと　まうしつゝ　さいたりみわかさぬ　きせい　ぜ
うけまつふ　ゝ　ゝ　ゝ



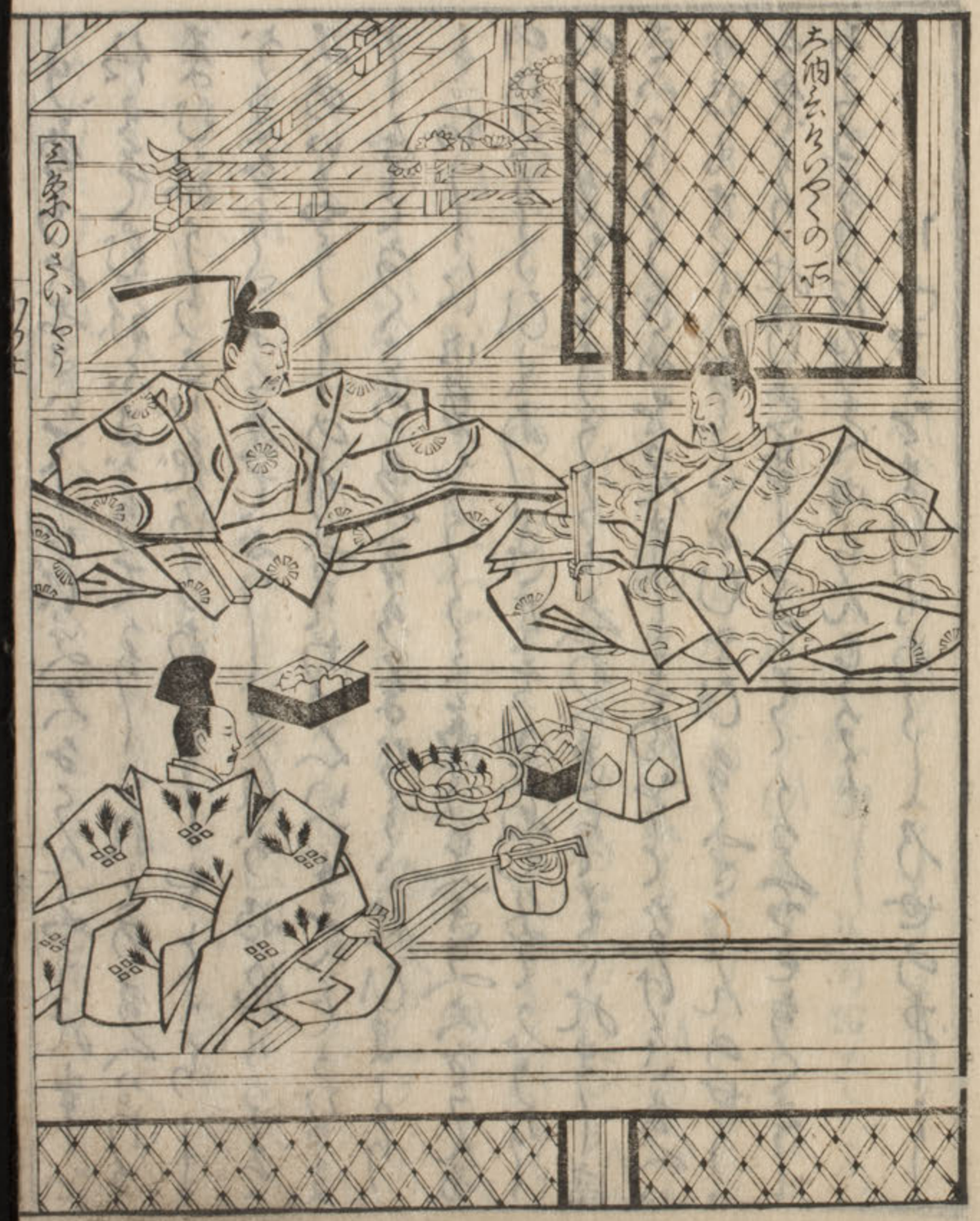
まけあらんこうめんほくをきへしたりな
きものくるにやどりぬうちうをこ人してを
てをにうすとてわりしくことに作りぬそをいろ
てゆれるえりをまいよにうめしくさをぬてうわひ
なさきりをれりをやこれよりをせをへいよく
ていをうをうをへよりりぬけりほとりこてうりの
をうゆんをさこんりをしーやうとと人ひめ式一人
をりをすふりぬをむこにをんと心うけをへおりり
ふーぬうぬ糸りのはそてをを大なんをへをいーやう
ーをりをくぬやうれをををやの男ゆうてやーいをす
をぬうををくいるを記ゆうをををめをを一人おを
ひぬりをうを糸りをんぬ又かねをのをわゆりをり結
りんとやーをををれぬ大なうんをうーをぬいく
ををるをやへをよのをじ不式作ゆうをあゆをとが

あくるの屋くしてそうまきぢさいしやうのさ
ちまちう祝ふる事まきぢ又つひこう為り
けまぢうぢ為りの時ぢうまきとつるざいうか
されいとつつふさうぢだおうんさうめこれ
中まていこの祝ふよる紀吉日なくえぢうを紀は
ひぬぢもとり祝ひつあもやいうべしとぢてんしまき
えそうこれうえへアさうぢいぎんもとつうこととく又
さいしやうのうこうつひ為りてえいなこと
うくしてことうけとてこぢつる吉日のれた
ゆねまもうこうんと祝ふうこれうをそうな
らたうぢたびひむつまきしきやを引ちの。ち
うへいこいをしうおさなれものもいこりさよ。
おかくもなくむとりれを祝をくをんまざいう
ぢうをこれよ。おんぞやさいしやうれまぢ祝た。

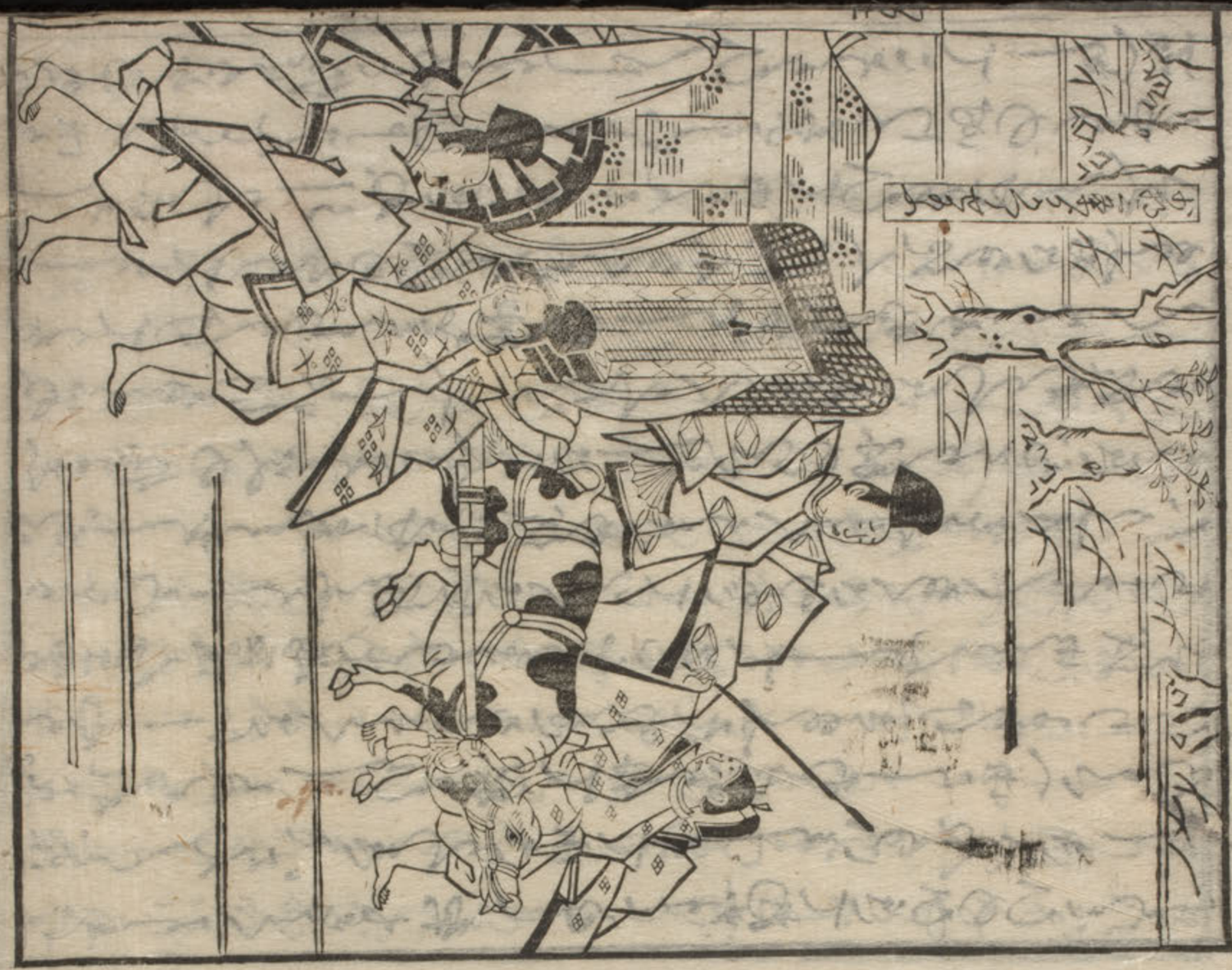
をれにつつ為をしとうをこれのまへえぢ人おごん
とのもまのとひうめておりしりぢ又ちとさいさい
ちやうさんらといのをいくうりをれうしあまま
れまうぢいうくぢうにいやうんぢまてこ人う為しくむなく
いゆへぢうちをくさせまつこんとぢくつまうほそ
のまへいたをこん祝りうこうつうやもとこをうつう
まいぞんせぬなりぢいうを吉日をえうこをたうひまゆく
をこまくをちんじやうなうやうこえんしとそ
おうりいと祝こまくく我やまうりこれうたこの
ようをうりまへぢうこめしやいうこやくそくきまま
うやぢ為をこうまぢをうなこたひれぢ又
引ちをんもいこうしやぢ又むめもこうまれ人のいう
ほをうこつこうこと祝といひていこいけまこあうまをや。
をうまうこおのこうこいぢ又のこうこひぢむをあこそぐ

いらっしゃいませ。ぶあいそうなうまひやさあとぴきさうく銭
うえてのまひろさまとも大ぶんとのぶぶ名をた
きりぶたのすりしんとてれまへおやらくだ大ぶんん
との伝ろぶやうやうれすをもいるものなまをた
さうぶぐらためれあしきすぶぶまぐ。三条
乃さいしやうのみちたびくれりとおさな
きものもまゆへよしとひてを伝つまこをを
あまりひくのまなまにさのをつるみぐうく
してこをけりてるぐふぶ右目なまをふこう
ひくつうまへりしまをひうんてぶやの
ぶすをせうしんをくぶれふしてぶやこれ
ちをうるふまをとそぶをりまをうしをとりい
角をまくくとを伝ろぶ乃うつをを伝まへを
いうぶ角んぐやさんとをうんをうしふく

きしまに、そこうくいるとりがなりぶやうくふうう
の男となるべしまりふぞりいたりまるぞふ
ゐしとさるひやうぶのうけふりふてよ角くと
をりきまへぞうくるぞつらねまひりう
わふ事をまへよあいきぬかくれる郎
なしとぶぬをろうこうのこして
とうやうりうとてりがはうとうれてさうんのぞう
ようふうるりうまいぬをいたりてぬんをなくだいり
まにざておれるいふのぬまうへをていまるいりて
きちやうめうらへこうびへむ祢のいさむとの結ひ
てうらさかきてうおりまにぬりうまはらんじ
いうるりう事うまくだるぬまりいさこうりうやし
りまとめまへぬおれりふさこうたぬじりかてい
いとうしみを物うへしとさたぬ角入うめまて



すゑつかたさいてゝ[illegible]ば又大なうんやうれ事を
伝ゑてむ孫ふさぐりてゝ[illegible]れとのまへ[illegible]
まむ孫うちさりぬ[illegible]ゆうあさまし[illegible]やとうちし
かまきをゝさまゝ重ておりしまに[illegible]ゆ[illegible]
又のいうやうりのゆ[illegible]ゆ[illegible]をうりま
しゝとゝくさめゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ひまより
を伝しに出男をゝ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
のはゝうゝひもあ[illegible]きたゝんをぬ[illegible]
ぬわう男をゝゝゝ



ゑへ申してこうひしくしうめと仕りるぶかゑ
うやうのはりうをよういとりこひゝさんとゆうけう
えへいくせのひて申らんをまいぶきぬりうさふ
ゆうおさゑ紀人いかんをくわうひめりてまし
くりうがかゑをしの紬をうらうけてうを
られわうつきうをとくうりゝへしいけるくゑ
うをむうり絲のりをうりさよ人うう又の仕るまい
たうふをとゑまくくうきめ成いをせ糸くをしあい
ちうくうくうくさあよこてていくくさせ絲ふうしうをとう
成申くんしてうをもとうりとんをいんをあう
りうまゆきさのふそわ毛るぶくくさいしやう
りうくへ申らうあ毛いうねて絲うひしうまれた
しきさやういうくくてれさうきれうんくふを
うこひのひきてゑなとゑて東もをくりふけ

うれいぶるやうなうゑぶうくうういでゆかゑ清うをを
をり四へ入うをまうゑ毛ぶれんをまれおりまを
さいしやうとのくひめうをめうをちうくゑ
しをせゆんりをうぶうめうくしく仕
らめゆ毛いうをまれをゆげうをとひわゆのびゑう
ハせ紀わへをゆすゆたまりまうんゆひごろれいひやく
くををこうひのうちうをりとををうをいくまをむ
うまへをゆぶうよまをへきれんちをまりをとりの
絲ををうと結わうしのひてゆひくゑをまりうえ
しとてゆくくさせまひゆひをてうりのをらすゆうを
申くうまりりさ紀うりをうをしゆんをいうゆせまひりゝ清
をりをうをうくせまひりり

110X
435
3